

ナルクに入会して

ナルクに入会してあつと言う間に9か月が過ぎました。まず同好会に参加させて頂くことから始まり、幸せなことに沢山の会員さんと触れ合える喜びを味わっています。最近では事務所に出かけることがとても楽しみで、事務所当番のお手伝いや、ボランティア活動に誘っていただき、お陰様で毎日楽しく充実した日々を送っています。まだまだ分からないことだらけで、迷惑をかけることも多いと思いますが、少しでも前に進みたい気持ちです。今後ともよろしくお願いたします。(西田美智子)

事務所での麻雀愛好会がスタート

ゲームの面白さは老若男女を問わない。とりわけ麻雀は筆頭クラスと言えるのではないかと。何故ならば我々素人はツキ7分、技3分と言われて、上手と下手との差が割合少ない。その点、強いものが勝つ率が高い囲碁・将棋等との大きな相違と言える。



更に四人で囲んでワイワイガヤガヤ、時には口三味線も入って、ゲームを楽しんで、そこにコミュニケーションが生まれる。その意味において、この度、麻雀愛好会が立ち上げられたことは大きな意義がある。

頭を使い、いろいろと先を連想し、そして指先を使い……、それは認知症予防の最たるものと言えるのではないかと。健全麻雀が老人会や各種団体にブームになっているのは当然の事と言える。



(「国士無双」であがりました)

昔は大学の周辺に麻雀屋が軒を並べ、銀行、製造業、紡績等は御三家と言われて、大阪市にあっては本町界限には麻雀屋が軒を並べていた。何のお手伝いもできないが、キャリアだけは70年。下手の横好きだけで全然上手くなっていないが、私も一員に加えて頂いた。会の発展と共に、コミュニケーションの更に深まることを期待したいと願っている。(松本義男)

「私的単身於台湾感傷旅行」

娘夫婦が台湾に住んでいるので、毎年のように1人で台湾を訪ねることにしています。失敗ばかりの単身旅行ですが、楽しいこともいっぱい。今回も、台北の地下鉄で中学生ぐらいの女の子に席を譲られました。大阪ではそんな経験はまったくないが、台北の地下鉄では何度目かの経験です。私は「謝々(シェイシェイ)」と言って座るのですが、そんな優しさに接するとたちまち台湾の街が好きになります。

次の日、娘の住む台中近郊の家の前の公園でスケッチをしていると、私の横に来た女の子が何やらメモ用紙に書いています。気にもせずにいると右のような落書きを描いて私にくれました。よく見ると、少女がウインクしている。ませた絵ではないか。後でその子が隣の家の住む小学二年生の子だと知りました。次の日、顔を見たら声をかけたいと思っていたのですが、その機会がありませんでした。来年訪台したらどれくらい大きくなっているか、出会うのが楽しみです。(表題は適当に漢字をならべたニセの中国語です)



(奥野 享)